

# MGU Chapel Letter

—第 56 号 2025 年 12 月 1 日— 発行：大学宗教センター

\* 2025 年度 年間聖句 \*

「あなたの御言葉は、わたしの道の光  
わたしの歩みを照らす灯（ともしび）。」

詩編 119 編 105 節



## 12月の大学礼拝スケジュール

【12 時 10 分～12 時 30 分 礼拝堂にて】

- ・ 12 月 1 日（月） 佐藤 由子 （日本基督教団仙台南伝道所牧師）
- ・ 12 月 3 日（水） 松田 牧人（オアシスチャペル利府キリスト教会牧師）
- ・ 12 月 5 日（金） 佐々木哲夫 （学院長・宗教総主事）
- ・ 12 月 8 日（月） 新田 恭平 （日本基督教団猪苗代教会牧師）
- ・ 12 月 12 日（金） 松本 周 （一般教育部教授）
- ・ 12 月 15 日（月） 中本 純 （日本基督教団仙台東六番丁教会牧師）
- ・ 12 月 17 日（水） 近藤 誠 （日本キリスト教団仙台北教会牧師）
- ・ 12 月 19 日（水） 栗原 健 （大学宗教センター長）

※12 月 10 日（水）は土曜日の振替授業日のため礼拝はありません

※12 月 18 日（木）15 時～16 時 大学クリスマス礼拝

詳しくは 2 ページをご覧ください

【連絡先】 宮城学院キリスト教センター

TEL：022-279-9558

Email：[christ-c@mgu.ac.jp](mailto:christ-c@mgu.ac.jp)

## ✦ クリスマスの礼拝・イベントのご案内 ✦

救い主イエス・キリストの誕生を祝うクリスマスの季節が、今年も近づいて来ました。慌ただしい日常を離れて礼拝に出席し、クリスマスが示す神の愛に心をひたすひとときを持ちましょう。

### ☆ 宮城学院クリスマスを祝う音楽会

日 時： 12月6日（土）11時～17時

学内各所で音楽の演奏会、物品の販売、ワークショップなどが開催されます。詳しいプログラムは、[https://www.mgu.ac.jp/event\\_christmas251206/](https://www.mgu.ac.jp/event_christmas251206/) をご覧下さい。礼拝堂では11時～11時30分に開会礼拝、15時～16時にチャペルコンサート、16時30分～17時に聖歌隊によるミニコンサートとエピローグが予定されております。

### ☆ 大学・大学院クリスマス礼拝（礼拝堂）

日 時： 12月18日（木）15時～16時  
メッセージ： 中家 契介（仙台黒松教会牧師）  
奏 楽： 小野 なおみ（オルガニスト）  
賛 美： 大学音楽科  
大学ハンドベルクワイア

\* この時間帯は全校休講になります。



### ☆ 学院公開クリスマス礼拝（礼拝堂）

日 時： 12月23日（火）：16時30分～17時45分  
メッセージ： 松本 周（大学一般教育部）  
奏 楽： 飯塚 由美（オルガニスト）  
賛 美： 大学音楽科  
大学ハンドベルクワイア

## ❖ 私たちの「存在証明」 ❖



最近、「疲れた」と口にする人が増えているように思えます。皆さんの中にも、ひそかに疲れやしんどさをおぼえている人が、少なくないのではないのでしょうか。

実はこの疲労、単に生活の忙しさとか睡眠不足から来ているものではないかも知れません。バックには、もっとシリアスな要因が隠れている可能性があります。

社会学者の石川准は、「現代人は『存在証明』に躍起になっており、人生の大半をそのために消費している」と指摘しています。「存在証明」とは、「自分がいかに価値のある人間であるか」、存在するに値する人間であるかということを、他人に見せて認めてもらうことです。SNS にキラキラした姿をアップしたくなるのも、こうした「存在証明」の1つですね。

けれども、「自分の価値を証明しなければ」という焦りの裏には、「自分には価値がない」との思い込みがある、と石川氏は喝破します。自分を受け容れること、今の自分を肯定することが難しいからこそ、「私は存在する価値がある」と他人に認めてもらいたくなるからです。もしかすると私たちの疲労感、際限の無いこの焦りから来ているのかも知れません。

こうした悩みについて、聖書は何を語りかけてくれるのでしょうか。聖書は、全ての人は大切な価値ある存在として創られ、その人生には意味があると示しています。意味が無いものであれば、神は初めから創らなかったはずだからです。「わたしの目にはあなたは価高く、貴く、わたしはあなたを愛し」ている（イザヤ書 43 章 4 節）と、神は全ての人々に語りかけます。

このことを明確に示しているのが、神の御子イエス・キリストが生まれたクリスマスです。イエスは、私たちと歩むために人間の 1 人としてこの世に生まれ、とことん人間と共に生き、最後は人間を罪から救うために十字架にまで赴きます。これこそが、私たちにとって最大の「存在証明」です。神がこれほどまで人間のことを大切に思って愛し抜いた以上、私たちは自分の価値を他人に証明してもらう必要は無いからです。クリスマスの時期、この神の愛に心を向けて安らぎを得ましょう。（栗）